

12月議会での質問を抜粋いたしました

- 詳細は、宇和島市議会のホームページにてどうぞ。
- 発言者の名前や発言内容(単語等)で検索できます。

【1】 うわうみだんだんマラソン大会について

(1) スポンサー集めはどう進んでいるか(市役所全体でスポンサー集めを)

【2】 地元企業を応援するための施策について

(1) 企業誘致も大切だが、既存企業を大切にすることも必要である、支援をどうするか(第一次産業を除く事例で)

【質問】三間に工場進出される「源吉兆庵」。その直接雇用の100人目標もさることながら、そのバックにある原料農産物の供給元となる圏域の農家の収入増につながり、雇用を生むことを考えると、かなりの効果があると思える。企業に対して、県も市も優遇策を準備(新規にルールを作ったり、既存のルールを目いっぱい使って)して工場進出に協力したわけだが、地元で頑張っている既存の企業が何か新しいことをしようというときに、どんな優遇制度があるか尋ねる。第1次産業を除く事例で紹介して欲しい。

【産業経済部長】現在、宇和島市内には、4,000の事業所があり、3万人強の雇用(平成26年の経済センサス)を支えていると認識している。そういう意味で、地元企業は地域経済を支える大切な担い手であると認識し、地元企業を応援する施策を講じていく必要がある。

産業未来創造室では、大きく分けて2つの施策を展開している。1つ目が、雇用の創出という観点から、既存の企業が新たな整備投資に伴う雇用創出を行うことに対して、奨励金を交付する宇和島市中核企業等支援事業を平成27年度より新たに創設した。2つ目として、地場産業の振興という観点から、産業未来創造室を中心に、愛媛県の営業本部とも連携しながら、地場製品の販路開拓や販売促進に従事している。平成27年度の実績で3億5,500万円。平成28年度はこれまで以上に地元に着した活動を行うことにより、複数の地元企業が商談を成立させている状況。

商工観光課の施策では、中小企業に対する融資制度として、中小企業振興資金融資制度及び小規模事業者の経営改善資金利子補給制度を設けている。平成28年10月末時点で、880件、165の事業者に利用されている。加えて、平成29年度中に中小企業振興の基本条例を制定すべく検討を進めている。あわせて、地元中小企業の自主的な取り組みを支援するための補助制度を設ける検討を進めている。なお、この補助制度の資金については、平成21年度より続けて来た地域商品券の事業を転換して実施すべく検討している。

【質問】いろいろの取り組みがある。特に雇用創出のほうでは奨励金、地場産業の販路開拓ということで理解できる部分もあるが、融資の利子補給というのは、頑張っている企業に対するものというよりは、「つなぎ」というイメージを強く感じる。源吉兆庵に類する優遇策、新しい取り組みを応援する制度とは少し離れていると思える。商品券事業を見直ししてその資金で行う、来年度の新しい施策について、より具体的に説明できるか。

【産業経済部長】来年度予算については、検討中で査定も行われていないが、これまで続けてきた商品券事業を改めて検証していくと、非常に意義ではあったが、消費喚起による経済活動の活性化という点について、思ったほどの効果がない様に思える。そういう意味で、既存の市内の中小企業に対して、ということがやれて、それによって経済活動がどう活性化していくかを、商工会議所等と中身を詰めている。大分でき上がっているが、まだはっきり申し上げるときに来ていない。

【質問】ぜひ新しい取り組みに挑戦して欲しい。挑戦し、それを検証し、もし効果が上がらなければやめればいい。いつまでも商品券事業を、同じ形で継続するのではなく、新しい取り組みに臨んで欲しい。1点提案する。制度上許される範囲で、地元企業から物資等を購入する施策はとれないか。ある自治体は、土木工事の入札の資格要件に「地元配慮」がある。また、落札要件の中に地元関与であるとか、事業者の地域との関係性を考慮した制度をより強く打ち出すところもある。給食物資にしても何にしても、市の購入する全てのサービス・物品について、地元配慮をする制度を検討しては。

【市長】基本的な精神としては、すでに、当然、地元優先で臨んでいる。ただ、地元で調達できないところ、例えば建設的なところでも特殊な技能を必要とするようなところは、やっぱり下請に回していかなければいけないというところがある。そういうところについては限度額をあらかじめ決めたり、入札の方法でいろいろ工夫をしたりしている。一般の物品についても、地元でできたものを使うというのが原則、一番好ましい。けれども、例えば文房具、これはもう全国的なメーカーが作っていて、それを購入する。ただ、購入する入札の資格については、地元優先をしている。今でも、地元配慮をして購入しているつもりだ。こういう分野でというところがあれば、問い合わせなりして欲しい。

【質問】今までより以上に、地元配慮を進めて欲しいのだ。

県の例を1つ紹介する。愛媛県の「スゴVen.」「スゴ技」という指定がある。その中で、県は指定業者の積極的な販売支援を行い、宇和島でも「スゴVen.」に指定されたLED照明器具のメーカーがある。このメーカーは、その「スゴVen.」に指定されたということをもって、県は随意契約※1の対象にしている。施設の照明器具を取りかえるうち、電気代のかかるものはLEDに、細かく更新していく時代であるが、その際、宇和島のLEDの照明器具メーカーが随意契約で受注できる業者に指定され、優遇されている。もちろん、技術があつて、価格的にも高くないわけだから、優遇という言葉が適切ではないかもしれないが、既に愛媛県は公共施設にそういう制度で、県内の企業を使う実績がある。南予地方局の会議室の照明器具も変わると聞いている。宇和島でも宇和島の事業者を育てるような地元配慮を進めて欲しい。

【3】 宇和島の子供たちの学力は上がったか

- (1) 平成28年度全国学力・学習状況調査の結果は
- (2) 学力向上はどう進められるのか 宇和島の子供たちの学力は上がったか。

【4】 教育環境をどう変えるか

(1) 来年度、ICT環境整備はどう進められる

【提案実現いたしました】

平成29年度3月補正予算で、全ての小中学校(生徒数10名以上の教室)2点吊り型のプロジェクター整備の予算が組まれました。

(2) エアコンの整備計画はどう検討されているか

【提案実現いたしました】

平成29年度3月補正予算で、中学校6校の整備予算が組まれました。整備は、29年度と30年度の2年間で、3校ずつ計6つの中学校に整備されます。続いて、小学校も国の補助金獲得に合わせて、整備を進めて参ります。エアコンにかかる電気代等の費用について、市は保護者負担を求めない予定とのことです。

【5】 環太平洋大学 短期大学部の宇和島市立化検討について

- (1) 大学の経営環境の厳しさをどう捉えているのか
- (2) どのような形で公立化されるのか

(3) 交渉はどう進むか、現有資産の扱いを例として問う

(4) 宇和島市として、どんな大学として生き残りを計るのか

【質問】昨日、大学の収支状況について詳しい資料を提示された。学生寮の運営の収支差が、4,000万弱ある。加えて、もろもろの奨学生、特に運動部の特待等での学費の全額免除や半額免除の費用が約5,000万※2 ある。つまり、公立の大学になって、いわゆる国公立の大学として評価され、そして、望まれる学部・学科コースというのを設置すれば、学生を200人集めることができれば、その時点で黒字化も不可能ではないと考える。寮※3については、学校経営と切り離せば良い。要は公立大学で市場に求められるコースをつくる。公立化が実現すれば市の大きな負担にはならないのではないかなと思える。だが、しかし、市の総合戦略の中に、大学・短期大学をどう活用するかという発想はない。去年(2015年)の11月にIPU側から申し入れがあり、その後やりとりをしたのなら、大学存続のためのコンサルタントの費用についての予算は、昨年(2015年)の12月議会であるとか、今年(2016年)の3月議会に出てきて、検討されるべきだったと思う。私は、創志学園グループには、人材も存り、経営ノウハウもかなりのものが在ると思っている。それに宇和島市がとってかわって、単純に経営がやれるとは思えない。創志学園グループだから、この程度の欠損で済んでいるとも思える。ほかの大学と教授陣のやりくりで費用を抑えたりもできているのではないかな。少子化の中、学校の経営環境が厳しい中で、公立化はどうなされるのか。

【市長】武田議員の質問では時間がかなり過ぎたということだが、正直言って、大学の運営というのに、昨年(2015年)の11月までは宇和島市は全くと言っていいほどノータッチであった。昨年、公立化をしてほしいという申し入れがあったことをきっかけとして、我々としても大学運営、大学の状況というのはどういうものを勉強しなければいけなかった。残念ながらゼロからのスタートであった。大学の状況を聞きながら、そしてまた公立化したらどういうふうなことが考えられるのか、特に財源的な問題等を中心に理解して、ある程度判断をこういふふうに示せるようになったということで、ここまで時間がかった。担当者もその努力はしているということで、ぜひ理解いただきたいと思う。

【質問】公立化というのが、それが、公立の大学の学校法人※4 なのか、直営なのか※5 ということになると思う。そして、私が尋ねたのは、ガバナンスである。どう経営していくかということだ。後者の場合、IPUから寄附を受けた不動産等々を現物出資する形で市は出資者になる。一番の出資者になる。そうすると、経営委員会なり何なりで、一番の発言力を持つ理事者になる(これを直営と表現した)。ガバナンスの形がどういう形であっても、この時点で、宇和島の責任に全てなってしまうと思う。今までどおり、創志学園グループのノウハウを活用して、創志学園グループの人脈を使い、そして学生を集める手段というところまで借りて、宇和島市立の大学に学生を集めるという単純な発想ではなくて、やれなくなったところで、向こうが引いてしまうということも想定しなければならない。そういう意味で、ガバナンスをどう考えているかを尋ねている。先ほど、誰かが天下りで理事長になるのではないかなという声が聞こえたが、そういう天下りで、ガバナンス・大学経営ができると思うのかということだ。この資料※6も、10月に担当課に渡している。こういう資料があるけれども、最新のデータを探して、現在の経営の問題点を探ってくれという話をしている。改めて尋ねる、ガバナンスをどう考えているのか。

【市長】形としては当然、学校法人というのが別個に設立されるということになると思う。その運営については、表面的に、実質的な最終責任は、理事会というのができて、そこで決定されて運営がされるということになると思う。ただ、その理事会で決めたことを実行していくスタッフは、ぜひIPUの方々に手伝って欲しいと思うし、こういう申し入れをしてきたのは、決してIPUはもう全部逃げますよということではないと考えている。要は、学生をより有利に集めるために公立化をさせてほしいということではないか、IPUの申し入れはそういうことであると思っている。お互いの協力のもとに、我々としては運営していく体制をつくっていききたい。また、目指していきたいと考える。

【質問】では、学校経営の理事会の中で、表決権は頭数で決まるのか、それとも出資額に応じた形なのか。すなわちは、合名会社とか合資会社のスタイルで総会が行われるのか、株式会社のスタイルで行われるのか、それはどちらだと捉えているか。

【市長】残念ながら、そこまで突っ込んだ話はIPUとしていない。ただ、理事会制度になると、御存じのように、その上というか、牽制する組織として評議員会というのが組織される。この理事会と評議員会の協力のもとに健全に運営していこうということになると思っている。

【質問】今の答えだと、まず出資額に応じた表決権を持つ立場になるだろうし、それはすなわち宇和島市がどれだけ経営に関与(重きを置いて)していくかということにつながる。よって、総合戦略の中でも全く触れられていない。そして、申し入れから1年以上経った今、どんな大学が地域に望まれているのかを調べようというのである。これで大学経営がやれるのかと思うのだ。創志学園グループときちんとした信頼関係があつて、協力をしていけば、けっしておちゃな判断だとは思わないが、そのためには、広く情報を開示して、様々なノウハウを集め、批判的な意見までも聞く体制をつくるべきだ。市立化について、職員の間にも危惧する声が多いと聞く。危機感を持っているということだろうが、ぜひ、その隠れた部分、その皆の危機感というのを活用して、よい投資先として、「IPUの短期大学の市立化」という方針を示して欲しい。

言葉尻をとるようだが、私たちの勉強会で理事者から「総務省は公立の大学がなくなること抵抗感なく受け入れてくれる」というような発言が在った。私は、大学をやり始める、そしてその大学に学生を募集する、そこで学んでもらう、卒業させるということは、そんなことじゃないと思う。自分の出身校がなくなったらどれだけ悲しいか、そういうことを考えて欲しい。総務省はOKでも、市はそうでないということを、市長はアピールをし続けて欲しい。

【6】 合併10年、1市3町の一体感をどう作る

- (1) 宇和島市は、一つであって一つでないのか。
- (2) 市民の声をどう捉えているか

※1 国、地方公共団体などが競争入札によらずに任意で決定した相手と契約を締結すること、及び締結した契約をいう。

※2 一方で、学費免除5,000万円を全学生(150名として)に公平に分割する(33万円)と、おおよそ公立並みの授業料(90万-33万=57万円)しか徴収していない計算となる。

※3 体育館を寮と一緒に賃貸しているので、その費用(体育館部分)をどう評価するかというのは交渉になる。

※4 地方独立行政法法人法 第2条による、公立の学校法人。

※5 学校教育法4条の学校設置者が市(を中心としたもの)である、私立の学校法人。

※6 公立大学ファクトブック2014



11月1日 愛媛平成市議の会式典



11月3日 吉田秋祭り



11月3日 城南合唱コン



11月6日 コスモまつり



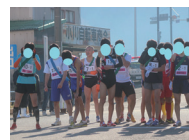
11月8日 宇和島書道展



11月19日 寿楽荘施設見学



11月27日 鶴島小学習発表



12月18日 津島駅伝



12月23日 吉田町マラソン



12月30日 消防夜警



1月4日 新年賀詞交歓会



1月7日 豊洲市場



1月29日 しらうおダブルダッチ



1月29日 しらうお祭